



# グローバル社会実習のご案内

## 1. はじめに

グローバル化が進む現代社会では、様々な国の人達とのビジネスをこなすことができる、国際的なコミュニケーション能力を持ったエンジニアの需要が高まっています。そこで工学部では2023年度より、「グローバル社会実習」という科目を新たに開講しました。この科目では本学の「派遣交換留学制度」を利用しているため、派遣先大学の授業料は免除となり(本学の学費支払いは必要)、返済不要の奨学金(GPAにより月6万円から8万円程度)も給付されます。また、この科目自体が単位認定されるだけでなく、留学先での受講科目を単位認定することも可能です。さらに、海外留学に配慮したカリキュラムを組んでいるため、留学時期を選べば4年間での卒業が可能です。

大学での留学体験は、語学力を高めるだけでなく、海外の人とのコミュニケーション能力やいかなる場面でも動じない適応能力を磨く、貴重な経験となります。ぜひ、グローバル社会実習の履修による留学を検討してみてください。

## 2. 留学先と留学時期

神奈川大学では、世界各地の大学と積極的に学術交流協定を結んでおり、2022年度時点で42カ国、157大学から留学先を選ぶことができます。次に留学時期についてですが、「グローバル社会実習」の開講期に留学をすれば4年間での卒業が可能です。その開講期は学科によって異なります(表1参照)。その点、注意して下さい。

表1：グローバル社会実習の開講期

学科	開講期
機械工学科	第5セメスター
電気電子情報工学科	第6セメスター
経営工学科	第5・6セメスター
応用物理学科	第4セメスター

## 3. 派遣交換留学に参加するために

派遣交換留学制度の枠には限りがあるため、参加するためには、学内選考を通過する必要があります。学内選考では語学力だけでなく学内成績も考慮され、面接試験も行われます。また、派遣留学制度では、GPAにより月6万円か

ら8万円程度の返済不要の奨学金が給付されますが、渡航費は自己負担となり、また奨学金で滞在費を賄いきれないケースも考えられるため、留学費用の用意も必要となります。

皆さんの留学体験がより良いものとなるよう、しっかりと準備を進めて下さい。

## 4. 留学への準備に向けて

神奈川大学には、ネイティブ・スピーカーの教員と英語で自由に交流できる「English Lounge」や、TOEFL対策ができる「TOEFL演習Ⅰ・Ⅱ」、4泊5日の国内短期留学経験ができる「English Camp」、本学の留学生と気軽に交流できる「国際交流Café」など、語学力アップや国際交流をサポートする様々な取り組みがあります(詳細は本学 HP <https://www.kanagawa-u.ac.jp/international/abroad/>を参照)。ぜひご活用下さい。

### 留学体験記

私は、約9ヶ月間カナダのブリティッシュコロンビア州にあるトンブソンリバーズ大学に留学していました。前期は語学をメインに、後期は専攻である会計学を学びました。カナダで生活していく中で楽しいこともあれば壁にぶつかることも幾度もありましたが、それ以上に学ぶことが多くありました。留学中は、多国籍な友人との交流やボランティア活動、コミュニティに所属して積極的にチャレンジする姿勢を貫きました。留学は語学力向上だけではなく、友人との素敵な出会い、自分自身を見つめ直す良い機会です。いくつもの困難がありながらも何かを得ようともがき続けた日々は自分自身が成長できた本当に貴重な時間でした。

(経営工学科 村上 蘭さん)

